



兵庫労働局発表
令和5年5月29日

[照会先]
兵庫労働局労働基準部
安全課長 平野 逸郎
主任地方産業安全専門官 濱田 一郎
(直通電話) 078 (367) 9152

報道関係者 各位



兵庫県内の「令和4年 労働災害発生状況」について

～死亡者数は3年ぶりに減少、休業4日以上の死傷者数は3年連続増加～

兵庫労働局(局長: かねざし よしゆき 金刺 義行)では、このたび、兵庫県内の「令和4年 労働災害発生状況」を取りまとめましたので公表します。

令和4年1月から12月までの労働災害による死亡者数(以下「死亡者数」という。)は、全産業で33人となり、前年の40人と比べて7人減少(17.5%減)し、3年ぶりに減少しました。一方、休業4日以上の死傷者数(以下「死傷者数」という。)は、11,788人で、前年と比べて5,821人、97.6%の増加となり、3年連続増加しました。

なお、新型コロナウイルス感染症へのり患(以下「コロナ」という。)による死亡者数は1人、死傷者数は6,658人であり、死傷者数は、コロナを除いても5,130人で、前年の5,091人と比べて39人の増加(+0.8%)となっています。

今年度は、労働災害の減少に向け、令和5年4月に策定した「兵庫第14次労働災害防止推進5か年計画」(令和5年度から令和9年度の5年間)の初年度として、建設現場等における足場等の高所からの墜落・転落災害、陸上貨物運送事業において多発している荷役作業中の災害の防止対策の徹底、小売業及び社会福祉施設で多発している労働者の作業行動が起因して発生する転倒や腰痛等(行動災害)による労働災害防止を図るための意識啓発を通じた自主的な安全衛生活動の普及・定着等を重点に取り組んでいきます。

【令和4年労働災害発生状況の分析等の概要】

労働災害発生状況の主な概要

1 死亡者数 ※1

死亡者数は33人、製造業9人(うちコロナ1人)、建設業8人、商業5人、陸上貨物運送事業1人、保健衛生業1人、その他の業種9人(交通運輸業1人、農業1人、畜産・水産業2人、教育研究業1人、清掃・と畜業2人、その他の事業2人)となった。

2 死傷者数 ※2

死傷者数は、業種別の多い順に、「保健衛生業」6,610人、「製造業」1,215人、「商業」973人、「陸上貨物運送事業」664人、「建設業」564人となりました。

特に「保健衛生業」は、令和3年以降、最多業種となり、前年と比べて5,225人の増加、増加率で377.3%の増加（約4.8倍）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除くと、多い順に、「製造業」1,133人、「商業」848人、「保健衛生業」704人、「陸上貨物運送事業」659人、「建設業」449人となります。

3 事故の型別

新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除くと多い順に、「転倒」1,368人、腰痛等の「動作の反動・無理な動作」805人、「墜落・転落」700人、「はさまれ・巻き込まれ」551人、「激突」321人、「交通事故（道路）」291人となりました。

なお、「転倒」は、前年と比べて0.5%の増加、「動作の反動・無理な動作」は、6.1%の増加となりました。

4 年齢別

新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除くと多い順に、「60歳～」1,443人、「50歳～59歳」1,389人、「40歳～49歳」997人、「20歳～29歳」601人、「30歳～39歳」582人、「～19歳」118人となっています。

50歳以上で見ると、死傷者数は全体の半数超（55.2%）を占め、死亡者数では、22名となり、全体の約7割（68.8%）を占めています。

5 事業の規模別

新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除くと、「10人～29人」規模が一番多く1,251人、24.4%を占めており、30人未満が全体の約4割（42.3%（17.9%+24.4%））を占めています。また、50人未満でみると全体の約6割（57.5%）を占めています。

※1 死亡災害報告をもとに、死亡者数を集計。

※2 事業者から提出される労働者死傷病報告をもとに、死亡者数及び休業4日以上の死傷者数を集計。

なお、これらの件数に通勤中に発生した災害の件数は含まない。



兵庫労働局
ホームページ
【災害統計】



兵庫労働局
ホームページ
【兵庫14次防計画】

兵庫県内の「令和4年 労働災害発生状況」の分析

目次

1 概況	P 2
2 死亡者数	P 2
(1) 業種別	P 2
(2) 事故の型別	P 3
3 死傷者数	P 3
(1) 業種別	P 3
(2) 事故の型別	P 4
(3) 年齢別	P 6
(4) 災害の程度別	P 7
(5) 事業の規模別	P 8
(6) 災害発生日別	P 9

参照資料のご案内

労働災害発生状況の詳細資料につきましては、当局ホームページの「事例・統計情報」をご覧ください。

(当局ホームページ: 掲載箇所 - 兵庫労働局 > 事例・統計情報 > 災害統計・事例 > 労働災害発生状況 > 令和4年 確定値)

(「兵庫労働局 災害統計」と入力して検索)



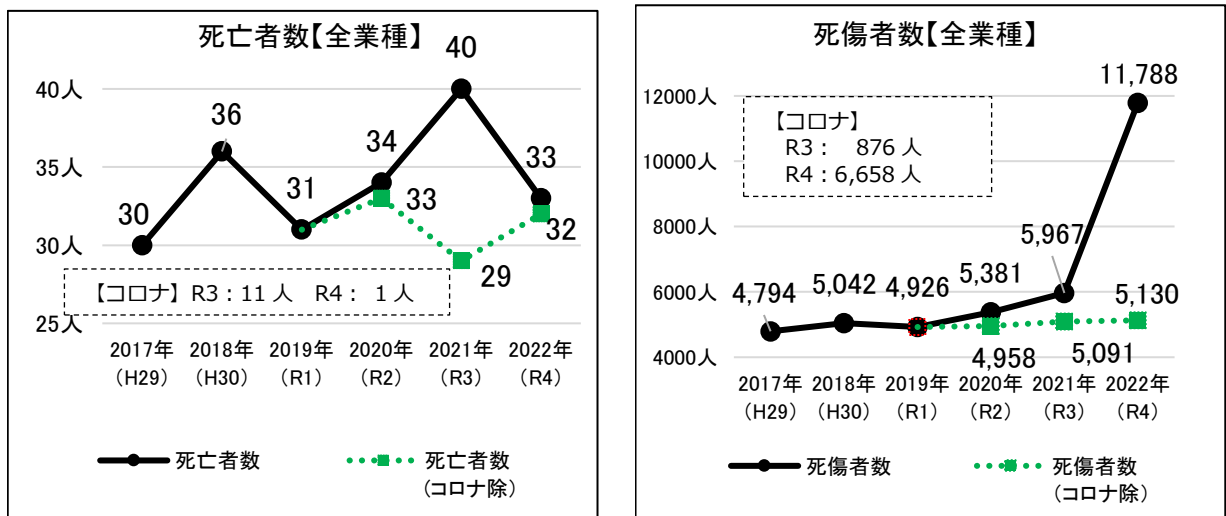
兵庫労働局
ホームページ

1 概況

令和4年1月から12月までの労働災害による死亡者数（以下「死亡者数」という。）は、全産業で33人となり、前年の40人と比べて、7人減少（17.5%減）し、3年ぶりに減少した。一方、休業4日以上死傷者数（以下「死傷者数」という。）は、11,788人で、前年と比べて5,821人、97.6%の増加となり、3年連続増加した。

なお、新型コロナウイルス感染症へのり患（以下「コロナ」という。）による死亡者数は1人、死傷者数は6,658人であり、死傷者数は、コロナを除いても5,130人で、前年の5,091人と比べて39人の増加（+0.8%）となっている。

グラフ1 死亡者数・死傷者数の推移



2 死亡者数 ※1：死亡災害速報による死亡者数

(1) 業種別

死亡者数33人を業種別で見ると、「製造業」で9人、「建設業」で8人の発生が目立ち、他業種と令和2年以降の年別発生状況は、表1のとおりである。

表1 業種別・年別 死亡者数の推移（人）

	令和2年	令和3年 (コロナ含む)	(コロナ)	令和4年	(コロナ)
			内数	(コロナ含む)	内数
全産業	34	40	(11)	33	(1)
製造業	5	8	(1)	9	(1)
建設業	12	8	(0)	8	(0)
陸上貨物運送事業	3	5	(0)	1	(0)
林業	1	0	(0)	0	(0)
商業	1	3	(0)	5	(0)
保健衛生業	1	6	(6)	1	(0)
清掃業	0	0	(2)	0	(0)
その他の業種	11	10	(2)	9	(0)
警備業	3	1	(0)	0	(0)

(2) 事故の型別

「事故の型」別の多い順では、「墜落・転落」7人、「はさまれ・巻き込まれ」7人、「交通事故（道路）」5人、「転倒」、「おぼれ」がそれぞれ2人となっている。

表2 事故の型別 死亡者数の推移（人） 令和4年の多い順に上位5型

	令和2年	令和3年	令和4年
墜落・転落	12	7	7
はさまれ・巻き込まれ	5	9	7
交通事故（道路）	5	4	5
転倒	1	2	2
おぼれ	0	0	2

3 死傷者数 ※2：労働者死傷病報告（様式第23号）による死傷者数

(1) 業種別

「業種」別の多い順では、「保健衛生業」6,610人（構成比56.1%：うち社会福祉施設3,419人）、「製造業」1,215人（同10.3%）、「商業」973人（同8.3%）、「陸上貨物運送事業」664人（同5.6%）、「建設業」564人（同4.8%）となっている。

上記のうち、「林業」以外の業種は、前年より増加しており、特に「保健衛生業」は、令和3年以降、新型コロナウイルス感染症のり患者が増加した影響もあって、最多業種となり、前年と比べて、377.3%の増加（約4.8倍）となった。

なお、新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除くと、多い順に、「製造業」1,133人、「商業」848人、「保健衛生業」704人、「陸上貨物運送事業」659人、「建設業」449人となっている。

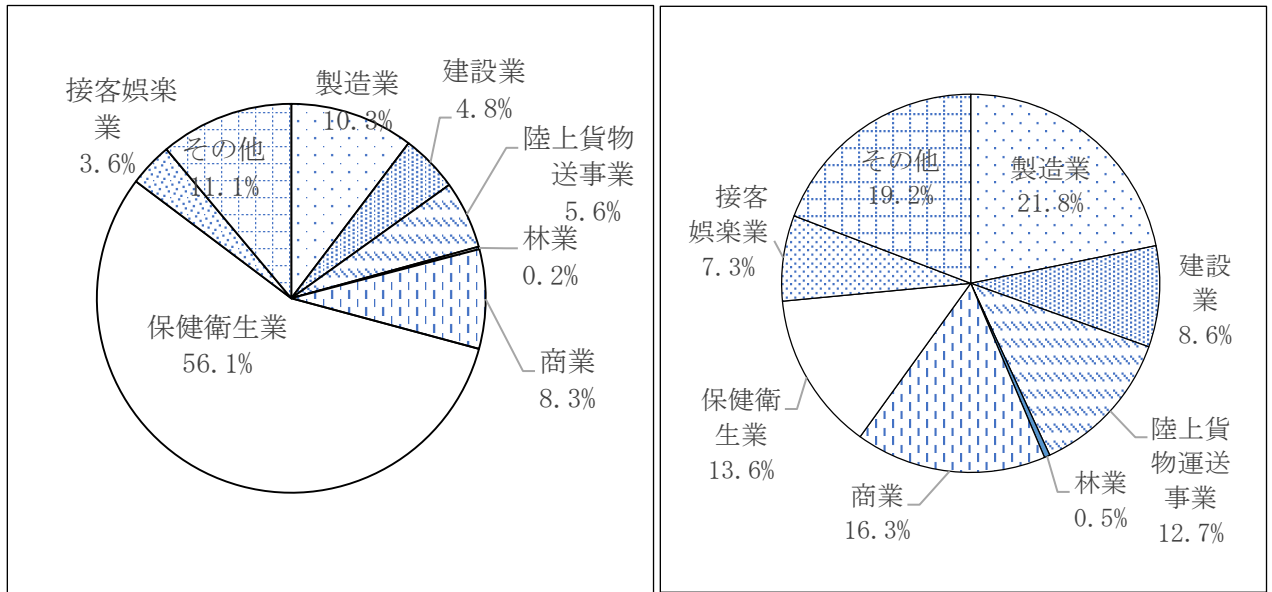
表3 業種別（主要業種）死傷者数の推移（人）、令和4年の対前年増減・率

	令和2年	令和3年	令和4年				対前年増減（人）	対前年増減（率）
			コロナ含	構成比	コロナ除	（コロナ）		
全産業	5,381	5,967	11,788	100.0%	5,130	(6,658)	5,821	97.6%
製造業	1,119	1,189	1,215	10.3%	1,133	(82)	26	2.2%
建設業	489	482	564	4.8%	449	(115)	82	17.0%
陸上貨物運送事業	594	630	664	5.6%	659	(5)	34	5.4%
林業	37	35	25	0.2%	25	(0)	-10	-28.6%
商業	798	884	973	8.3%	848	(125)	89	10.1%
小売業	597	661	724	6.1%	659	(65)	63	9.5%
保健衛生業	1,036	1,385	6,610	56.1%	704	(5,906)	5,225	377.3%
社会福祉施設	585	886	3,419	29.0%	262	(2,887)	2,533	285.9%
接客娯楽業	347	365	429	3.6%	380	(49)	64	17.5%
飲食店	214	216	246	2.1%	216	(30)	30	13.9%
その他	961	997	1,308	11.1%	997	(311)	311	31.2%

グラフ2 業種別（主要業種）死傷者数の構成比（令和4年）

【コロナ含む】

【コロナ除く】



(2) 事故の型別

事故の型別では、新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除くと、特に死傷者数が最多の「転倒」1,368人、次いで腰痛等の「動作の反動・無理な動作」805人、「墜落・転落」700人、「はさまれ・巻き込まれ」551人、「激突」321人、「交通事故（道路）」291人となった。

「転倒」は、前年と比べて0.5%の増加、「動作の反動・無理な動作」は、前年と比べて6.1%の増加となった。一方、「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」、「交通事故（道路）」は前年と比べて、それぞれ5.9%、3.2%、5.2%の減少となった。

なお、「転倒」は、60歳以上が約4割（43%）を占め、50歳以上でみると、女性は男性の2倍（女性662人／男性330人）被災している。（P6 グラフ4参照）

表4 事故の型別 死傷者数、構成比、対前年増減・率（令和4年） 令和4年の多い順に上位6型

順番	事故の型	死傷者数（人）		構成比	対前年増減（人）	対前年増減（率）
		令和3年	令和4年			
1	転倒	1,361	1,368	26.7%	7	0.5%
2	動作の反動・無理な動作	759	805	15.7%	46	6.1%
3	墜落・転落	744	700	13.6%	-44	-5.9%
4	はさまれ・巻き込まれ	569	551	10.7%	-18	-3.2%
5	激突	295	321	6.3%	26	8.8%
6	交通事故（道路）	307	291	5.7%	-16	-5.2%

※ 「構成比」は、新型コロナウイルス患者数を除いた死傷者数で算定。

グラフ3 事故の型別 死傷者数の構成比（令和4年）

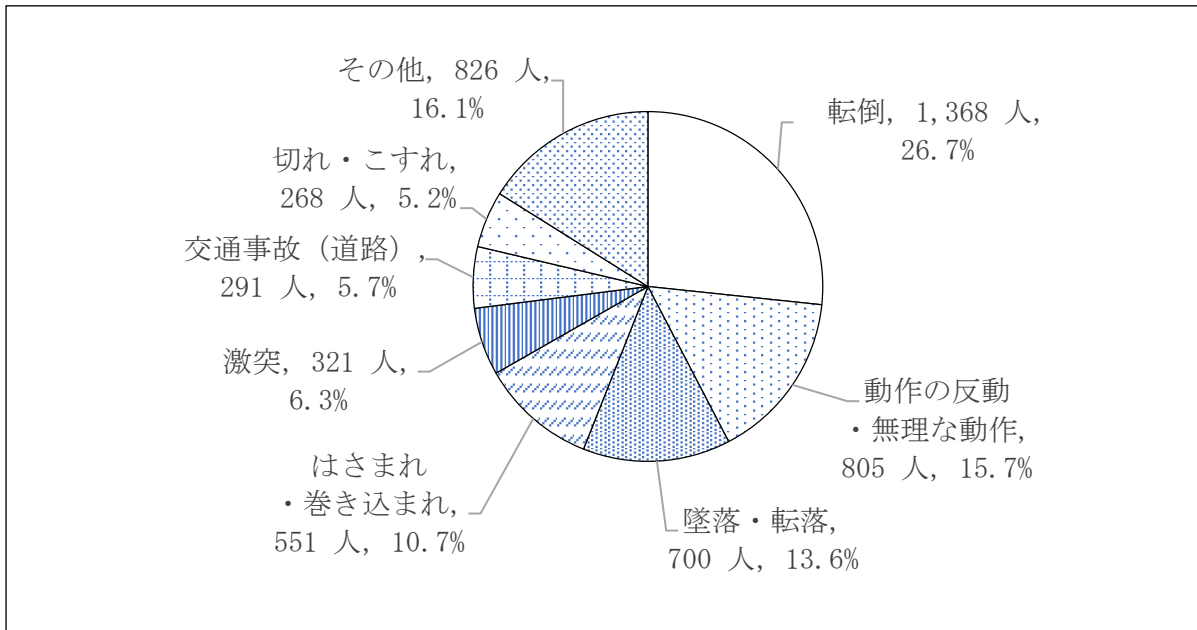


表5 業種別、事故の型別 死傷者数、構成比 令和4年の多い順に上位5業種

墜落・転落		令和3年	令和4年
全産業		744(7)	700(7)
陸上貨物運送事業		176(0)	156(0)
建設業		147(5)	136(2)
製造業		131(0)	107(1)
商業		92(1)	100(2)
保健衛生業		46(0)	35(0)

転倒		令和3年	令和4年
全産業		1,361(2)	1,368(2)
商業		289(0)	272(1)
製造業		214(0)	264(0)
保健衛生業		262(0)	261(0)
接客娯楽業		125(0)	107(0)
陸上貨物運送事業		110(1)	125(0)

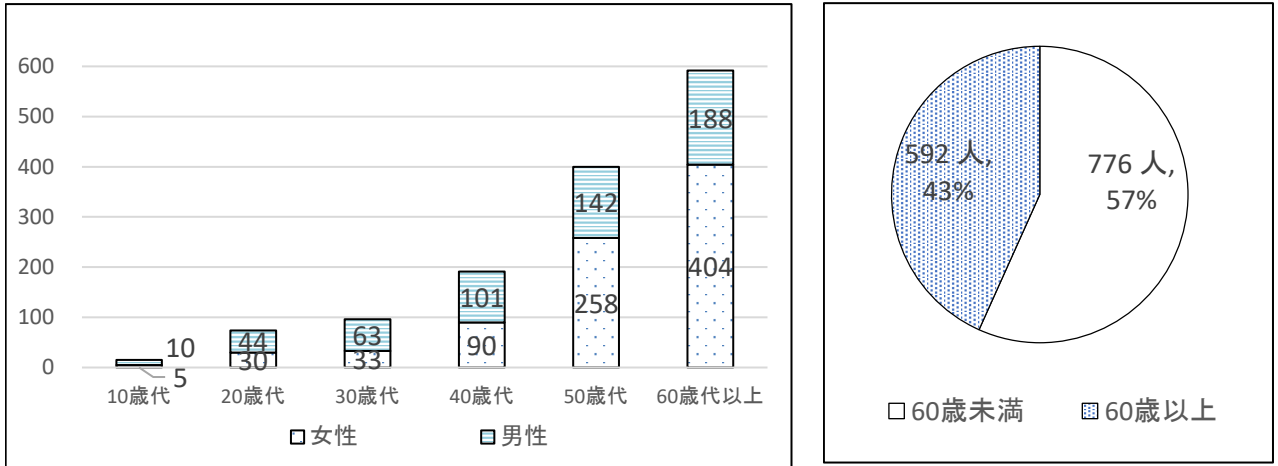
はさまれ巻き込まれ		令和3年	令和4年
全産業		569(9)	551(7)
製造業		275(3)	267(5)
陸上貨物運送事業		86(2)	87(0)
商業		62(1)	53(0)
建設業		49(1)	40(0)
清掃と畜業		28(1)	21(1)

動作の反動・無理な動作		令和3年	令和4年
全産業		759(0)	805(0)
保健衛生業		250(0)	224(0)
商業		97(0)	153(0)
製造業		112(0)	123(0)
陸上貨物運送事業		95(0)	116(0)
接客娯楽業		50(0)	46(0)

交通事故(道路)		令和3年	令和4年
全産業		307(4)	291(5)
商業		80(1)	72(1)
保健衛生業		46(0)	35(1)
陸上貨物運送事業		28(1)	30(1)
通信業		42(0)	30(0)
建設業		27(0)	26(2)

コロナ		令和3年	令和4年
全産業		876(11)	6,658(1)
保健衛生業		638(6)	5,906(0)
道路旅客運送業		9(1)	186(0)
商業		53(0)	125(0)
建設業		26(0)	115(0)
製造業		71(1)	82(1)

グラフ4 事故の型（転倒災害）－年代別 死傷者数の割合（令和4年）



(3) 年齢別

年齢別の多い順では、新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除くと、「60歳～」1,443人、「50歳～59歳」1,389人、「40歳～49歳」997人、「20歳～29歳」601人、「30歳～39歳」582人、「～19歳」118人となっている。

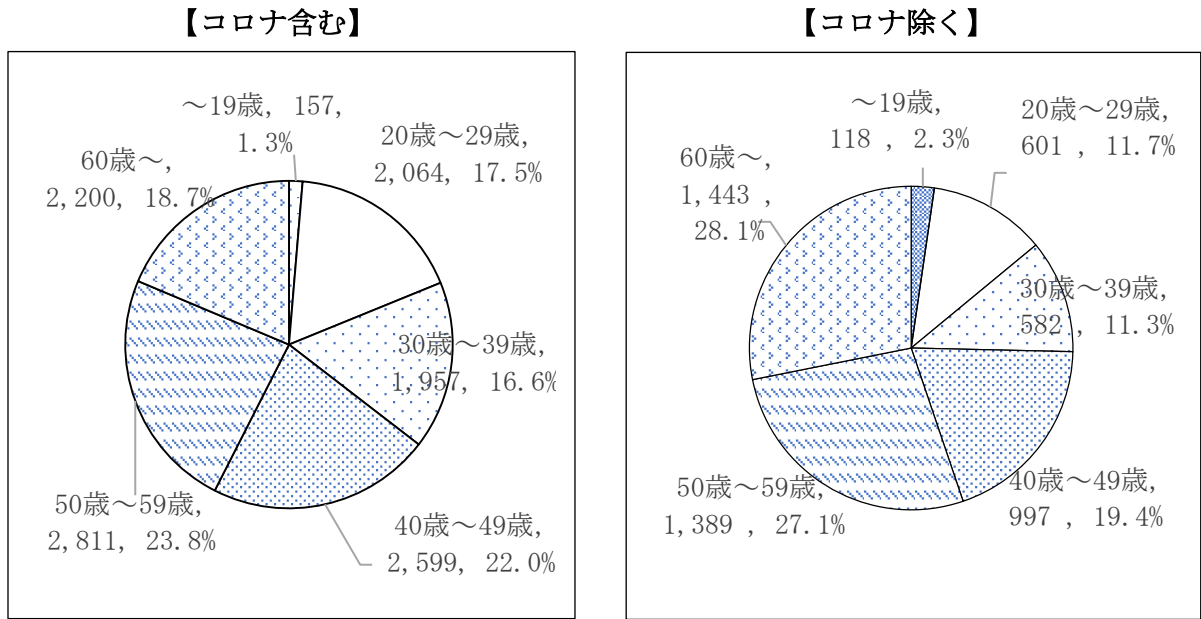
死亡者数32人のうち、「60歳～」は14人で、全体の43.8%（14人/32人）を占めている。死傷者数では、50歳以上でみると、全体の半数超（55.2%（27.1%+28.1%））を占めている。

表6 年齢別 死傷者数、構成比、対前年増減・率（令和4年）（ ）数字は死亡者数

	死傷者数（人）		構成比	対前年増減（人）	対前年増減（率）	コロナ除く	
	令和3年	令和4年				令和4年	構成比
総数	5,967(40)	11,788(33)	100.0%	5,821	97.6%	5,130(32)	100.0%
60歳～	1,482(17)	2,200(15)	18.7%	718	48.4%	1,443(14)	28.1%
50歳～59歳	1,569(9)	2,811(8)	23.8%	1,242	79.2%	1,389(8)	27.1%
40歳～49歳	1,254(9)	2,599(2)	22.0%	1,345	107.3%	997(2)	19.4%
30歳～39歳	806(5)	1,957(3)	16.6%	1,151	142.8%	582(3)	11.3%
20歳～29歳	761(0)	2,064(5)	17.5%	1,303	171.2%	601(5)	11.7%
～19歳	95(0)	157(0)	1.3%	62	65.3%	118(0)	2.3%

※四捨五入の関係で年齢の区分の合算とは一致しない。

グラフ5 年齢別 死傷者数の構成比 (令和4年)



(4) 災害の程度別

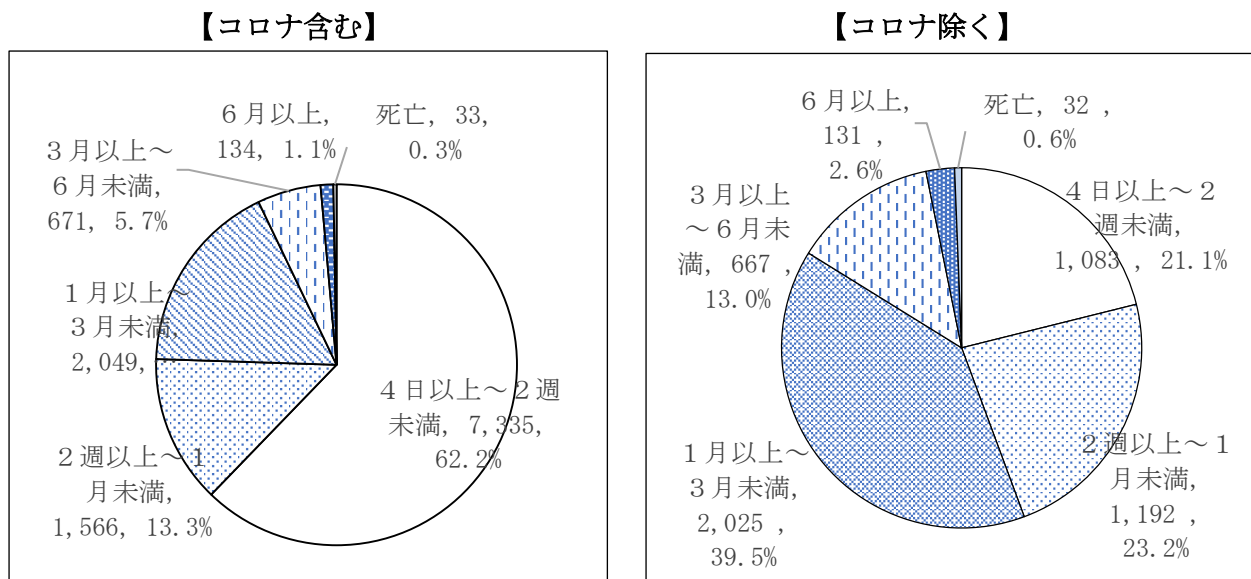
新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除くと、「1月以上～3月未満」が一番多く、2,025人、39.5%を占め、1月以上でみると全体の半数超（55.7%）を占めている。

表7 災害の程度別 死傷者数、構成比、対前年増減 (令和4年)

	死傷者数 (人)		構成比	対前年増減 (人)	対前年増減 (率)	コロナ除く	
	令和3年	令和4年				令和4年	構成比
4日以上 ～2週未満	1,368	7,335	62.2%	5,967	436.2%	1,083	21.1%
2週以上 ～1月未満	1,624	1,566	13.3%	-58	-3.6%	1,192	23.2%
1月以上 ～3月未満	2,155	2,049	17.4%	-106	-4.9%	2,025	39.5%
3月以上 ～6月未満	613	671	5.7%	58	9.5%	667	13.0%
6月以上	167	134	1.1%	-33	-19.8%	131	2.6%
死亡	40	33	0.3%	-7	17.5%	32	0.6%

} 55.7%

グラフ6 災害の程度別 死傷者数の構成比（令和4年）



(5) 事業の規模別

新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除くと、「10人～29人」規模が一番多く、1,251人、24.4%を占めており、30人未満が全体の約4割（42.3%（17.9%+24.4%））を占めている。

また、50人未満でみると全体の約6割（57.5%（42.3%+15.2%））を占めている。

表8 事業の規模別 死傷者数、構成比、対前年増減（令和4年）

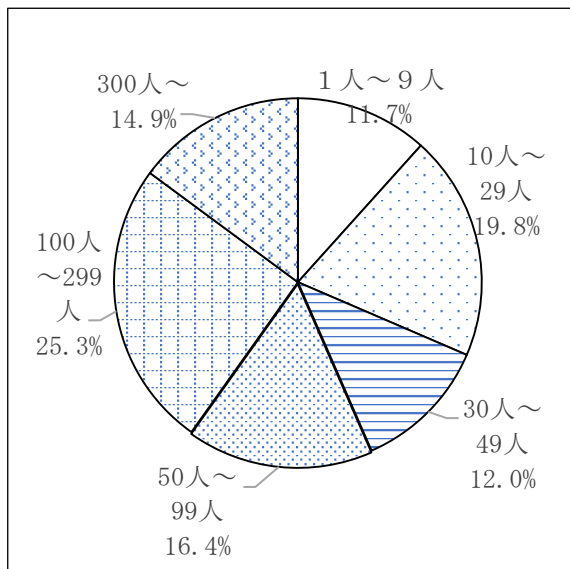
	死傷者数（人）		構成比	対前年増減（人）	対前年増減（率）	コロナ除く	
	令和3年	令和4年				令和4年	構成比
1人～9人	978	1,375	11.7%	397	40.6%	917	<u>17.9%</u>
10人～29人	1,449	2,335	19.8%	886	61.1%	1,251	<u>24.4%</u>
30人～49人	823	1,410	12.0%	587	71.3%	782	15.2%
50人～99人	1,011	1,933	16.4%	922	91.2%	858	16.7%
100人～299人	1,107	2,981	25.3%	1,874	169.3%	880	17.2%
300人～	599	1,754	14.9%	1,155	192.8%	442	8.6%

42.3% }
 57.5% }

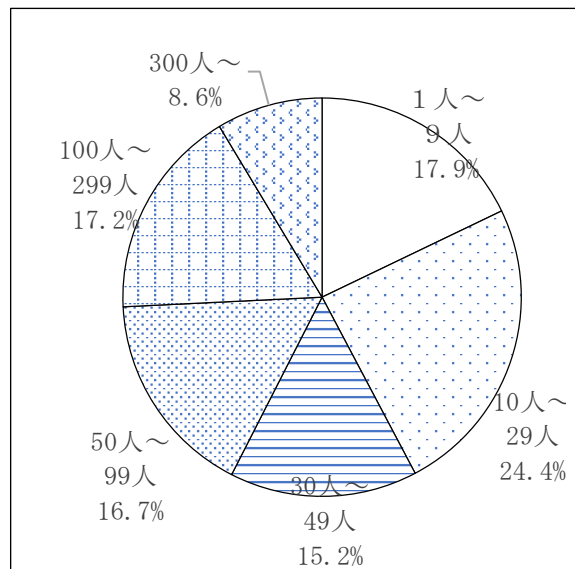
※四捨五入の関係で年齢の区分の合算とは一致しない。

グラフ7 事業の規模別 死傷者数の構成比（令和4年）

【コロナ含む】



【コロナ除く】



(6) 災害発生月別

8月が2,063人で最多となり、次に7月が1,489人となっている。

グラフ8 災害発生月別 死傷者数（令和4年）

